

第28回社会保障審議会年金部会 資料 平成26年11月19日 (水)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000065782.html>

- 議事次第 [議事次第 \(PDF : 52KB\)](#)
- 委員名簿 [委員名簿 \(PDF : 113KB\)](#)
- 座席図 [座席図 \(PDF : 156KB\)](#)
- 資料1 [これまでの議論の整理 \(PDF : 393KB\)](#)
http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12601000-Seisakutoukatsukan-Sanjikanshitsu_Shakaihoshoutantou/0000065843.pdf
- 資料2 [基本ポートフォリオの変更について \(PDF : 447KB\)](#)
- 参考資料1 [今後の検討の進め方 \(PDF : 540KB\)](#)
- 参考資料2 [第1回社会保障審議会年金部会年金積立金の管理運用に係る法人のガバナンスの在り方検討作業班資料 \(PDF : 688KB\)](#)
- 参考資料3 [第2回社会保障審議会年金部会年金積立金の管理運用に係る法人のガバナンスの在り方検討作業班資料 \(PDF : 1,055KB\)](#)
- 参考資料4 [第3回社会保障審議会年金部会年金積立金の管理運用に係る法人のガバナンスの在り方検討作業班資料 \(PDF : 931KB\)](#)

(報道から)

○日経新聞 年金、給付を毎年抑制できるよう改革 厚労省方針 2014/11/19 20:49

厚生労働省は19日、社会保障審議会の年金部会を開き、年金制度の改革方針を示した。年金制度を維持するために、受給額を年に約1%抑える仕組みを「早期に確実に進めていく」と明記した。デフレのときは受給額を減らせない制度の弱点を念頭に、「ルールの見直しで年金水準の調整を極力先送りしない」として、毎年抑制できるようにする方向だ。

厚労省は今後、改革案の具体的な制度設計に入る。来年の通常国会で関連法の改正案の提出を目指す。12月に総選挙を控えて国民への支給を減らす議論がしにくくなることもあり、見通しは不透明だ。

年金部会ではそのほか、受給額が手厚い厚生年金の加入基準を引き下げて、より多くのパート労働者に適用することや、基礎年金の保険料を65歳まで納めるようにして、受給額を増やす改革を議論する。

○しんぶん赤旗 11月21日 年金30年削減方針 厚労省 受給開始先延ばしも 社会保障審議会

厚生労働省は19日の社会保障審議会年金部会で、年金制度改悪に関する議論をまとめた。年金を児童削減する仕組みの「マクロ経済スライド」を物価下落時にも発動して、向こう30年間にわたって削減し続ける方針を示しました。

「発動が遅れ、調整期間が長期化している」と、給付減を正当化しています。

「65歳まで働くことを標準」とし、保険料拠出期間を45年に延長。受給開始年齢をさらに引き上げていく考えを示しました。

「働ける方は働いて、保険料を支払っていく」などと言って負担増を押しつける方針です。

パート労働者などへの厚生年金の適用拡大については、週20時間以上、月収5・8万円以上などを要件とする考えを示しました。新たに220万人が対象となります。

「働き方に中立的な社会保障制度」と掲げて、専業主婦の年金の廃止も打ち出しました。パート労働者などへの適用拡大をしながらすすめる考えです。